



背景

角島は、本州の最西端、山口県下関市豊北町の西北部約1.5kmの響灘に位置する面積3.8km²、人口約800人の島です。また、豊かな自然環境に恵まれており、北長門海岸国定公園の中核をなしています。

架橋前までは、本土とは1日7便の町営渡船により連絡していましたが、日本海特有の冬季風浪時には欠航も多く、医療、教育、消防など本土に頼らざるを得ない日常生活に支障が生じていました。

このため、角島大橋の建設は、島民から『夢の架け橋』としてその早期実現が強く望まれ、平成3年に補助事業として新規採択され、平成12年11月に完成しました。

概要

路線名 ■ 一般県道角島神田線
つのしまかんた
ほうほく こついつのしま
 (豊北町道特牛角島線 過疎地域市町村道代行事業として整備)

架橋箇所 ■ 山口県下関市豊北町大字神田から同町大字角島
ほうほく かんた つのしま

事業期間 ■ 平成3年度～平成12年度
 (平成3年度は町事業)

橋梁建設費 ■ 約132億円

橋長 ■ 1,780m

有効幅員 ■ 6.5m(0.5m+2.75m+2.75m+0.5m)

道路規格 ■ 第3種第4級